

J R 久留里線（久留里～上総亀山間）の代替交通に関する 住民説明会の開催結果について

1 開催日時、場所

- ・令和7年7月31日（木）午後6時30分から 上総地域交流センター
- ・令和7年8月 5日（火）午後6時30分から 松丘コミュニティセンター
- ・令和7年8月 6日（水）午後6時30分から 亀山コミュニティセンター

2 参加者の状況

- ・久留里地区：参加者44人
- ・松丘地区：参加者52人
- ・亀山地区：参加者52人

3 主な意見等

(1) 運行ルート等に関するもの

- ・久留里駅から県道93号線経由で向郷方面までルートを延伸してほしい。
- ・久留里駅からスタートして、向郷・山滝野・大坂・大戸見・大中・笹・片倉を経由して、最終的に香木原方面に向かうルートを追加してほしい。
- ・フリー乗降を可能にしてほしい。
- ・小学校と森林体験交流センターで、週2回の放課後の遊び場づくりをしているため、バスが森林体験交流センターまで行くのであれば、とても助かる。
- ・子どもが土日バスケットボールクラブに行くのに小櫃小学校まで行っているほか、小櫃公民館で子ども食堂が開催されているので、親の送迎なしに小櫃公民館（小櫃方面）まで運行してもらえたら助かる。
- ・トンネルの崩落等があった場合、運行を取りやめるのか、ルート変更で対応するのか、久留里線の臨時運行で対応するのか。
- ・柳城や高水のバス停は利用者がいないのではないかと。浦田、三の丸、久留里神社等、久留里周辺は混みあっており、バス停が多いと感じる（ただし、高齢者に配慮しているのであれば、理解はできる。）。
- ・（バス停の数を削減し、）濃溝の滝や七里川温泉方面にルートを延伸してほしい。

(2) 接続に関するもの

- ・上りの第2便について、遅延時に久留里駅での接続が確保されるよう配慮してほしい。
- ・大幅に遅延した場合は、予備車を使用して木更津駅まで運行してほしい。

(3) 運行本数に関するもの

- ・観光のハイシーズンについては、臨時バスを運行するなどし、対応してほしい。

(4) 運賃に関するもの

- ・JRの運賃割引制度の対象区間に代替バスの運行区間も含めてほしい。
- ・回数券では、定期と比較した場合、大幅な差が生じるため、現行と同程度の負担となるよう配慮をしてほしい。

(5) その他

- ・JR全体では黒字なのに、なぜ廃線にするのか。
- ・JRの費用負担がいつまで続くのか知りたい。
- ・公共交通会議において、存廃についての十分な議論をすべき。
- ・対象者を限定して説明会を行うのはおかしい。
- ・カーボンニュートラルの視点から、バスと久留里線のCO₂排出量を比較し、公表してほしい。
- ・廃線後の用地管理（獣害対策）として、草刈りを定期的に行ってほしい。
- ・固定資産について、列車が通れるように管理していくのか、放っておくのか、売却・譲渡により、関係ないという状態を作ろうとしているのか。
- ・利便性が上がり、地域住民の利用機会が増えるのであれば、バス転換しても良いと考える。
- ・久留里線の車両数を減らすことで、亀山から久留里間の運行を継続することはできないか。
- ・デマンドタクシーが久留里線の需要を奪ってしまったのではないか。
- ・カピーナ号を活用して交通手段を確保することはできないか。
- ・代替交通の運行に係る赤字額の試算状況について、教えてほしい。